

ピュア&シンプル  
キリスト教



パツィー・オダ 著  
ノーマ・ボンツ イラスト  
尚子・シャーマン 訳

# ピュア&シンプル キリスト教

パツィー・オダ 著  
ノーマ・ボンツ イラスト  
尚子・シャーマン 訳

本書は、日本聖書刊行会発行新改訳聖書第三版の聖句、または  
日本聖書協会発行口語訳聖書の聖句を引用しています。

ピュア&シンプル キリスト教  
Christianity Pure and Simple  
Copyright 2009 AWST  
All Rights Reserved

# 真理とは？

## 真理とは？

真理とは正しい物事の筋道。  
すべての真理は神さまだけが知っています。

## 神さまとは誰のこと？

神さまとは三人の中に宿るひとつの霊です。

- 父なる神さま
- 神さまの子、イエス・キリスト
- 聖霊

神さまはすべてのものをデザインし、すべてのものを造った偉大な方です。この方は永遠に生き続けます。この方はいつでもどこにでも存在しています。この方は誰のことでも、ほんのささいなことでも知っています。この方は永遠に存在する愛の霊であり、**真理**なのです。

## 真理が書かれている神さまの書物

聖書は神さま自身が人間を霊的に導いて書いたとされる世界中でただひとつの書物です。神さまの永遠の真理と神さまの思いが記録されています。超自然的な力をもつ、生きている神さまの言葉が聖書にはつづられているのです。神聖な光が偽りを照らして人間の心の中にあるはかりごとや動機をさばきます。

みことばのすべてはまことです。あなたの義のさばきはことごとく、とこしえに至ります。

詩篇 119 : 160 (新改訳)

神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。

ヘブル人への手紙 4 : 12 (新改訳)

## 本当に聖書の著者は神さま？

- **神さまが著者でなかったら**、どうやって身体構成成分を明記することができたでしょう。身体構成成分は「地の塵」と同じ成分だということを神さまは明記していますが、科学者がこれを発見したのは最近の世紀なのです。
- **神さまが著者でなかったら**、どうやって世界の歴史を記録することができたでしょう。聖書には天と地の創造（創世記 第1章～第2章）、現在の状況やできごと（ルカの福音書 第21章5節～36節）、そして世界の最後（ヨハネの黙示録 第21章）がこまかく記録されています。
- **神さまが著者でなかったら**、どうやって個人、家族、社会、そして、いろいろな国々の調和と平安を保つ道徳の原理を書き記すことができたでしょう。神の原則や教えを拒もうとする人々が滅びていったのを歴史は物語っています。
- **神さまが著者でなかったら**、どうやって神さま自身のことを人類に紹介する本を書き記すことができたでしょう。聖書につづられている神さまが真理であると信じることにより、いろいろな人生、いろいろな年齢層、いろいろな文化の中で生きているすべての人々が、創造主である実在している神さまに出会っています。
- **神さまが著者でなかったら**、どうやって天国、地獄、天使、悪霊などの肉眼では見えないものを、とこしえに続く権威をもって書き記すことができたでしょう。
- **神さまが著者でなかったら**、どうやって地獄をさけることができるか、どうしたら天国にある永遠の命のギフトを受けとることができるかということを教えることができたでしょう。

## 真理を選ぶ

神さまの真理はピュアでシンプル、永遠に変わることはない事実であると聖書は説いています。神さまは、信じる（信仰）か信じない（不信仰）かを選ぶ権利を私たちひとりひとりに与えました。神さまが語ることは真理ではないと信じることを選ぶ者たちは、人間によって説かれた哲学、理論、意見、仮説や言い伝えによる人生論に頼らなければなりません。

あのむなし、だましごとの哲学によってだれのとりこにもならぬよう、注意なさい。それは人の言い伝えによるもの、この世の幼稚な教えによるものであって、キリストによるものではありません。

コロサイ人への手紙 2：8（新改訳）

## 神さまの真理を変える

神さまは真理である神さまの言葉を他の言葉におきかえる者たちに厳しく警告しています。聖書は数多くの言語に翻訳され、わかりやすいように多くの訳文が出版されていますが、いかなることがあっても不変の真理を変えることは禁じられています。神さまの言葉としてつづられている真理に対して怒る者たちは直接、自分自身で神さまに抗弁することになるのです。

この書の預言の言葉を聞くすべての人々に対して、わたしは警告する。もしこれに書き加える者があれば、神はその人に、この書に書かれている災害を加えられる。また、もしこの預言の書の言葉をとり除く者があれば、神はその人の受くべき分を、この書に書かれているいのちの木と聖なる都から、とり除かれる。

ヨハネの黙示 22：18 - 19（口語訳）

ピュアでシンプル

**聖書は神さまが書かれた真理です。**

# 鶏と卵

## どちらが先？

### 生命についての質問に 答える神さま

- 地球上の生き物はどのようにして生まれたのでしょうか。
- 鶏と卵はどちらが先なのでしょうか。
- 時間、日、週、月、季節、年はどのようにして計られ、定められたのでしょうか。
- 結婚、家族、仕事、国家はどのようにして世界中に広められたのでしょうか。
- 数多くの国々と数多くの言語があるのはなぜでしょう。

神さまはこれらの質問の答えを彼自身の書物である聖書の中につづりました。どのようにしてすべてのものを造ったのか、どのようにして地上における生命のわくづけをしたのかを、神さまは創世記の中で語っています。

初めに、神が天と地を創造した。地は茫漠として何もなかった。やみが大水の上であり、神の霊が水の上を動いていた。

創世記 1：1 - 2（新改訳）

## 一日目

### 光

神さまは光が現れるように命じて、光と闇とを区別しました。  
神さまは光を昼、闇を夜と名づけました。

## 二日目

### 天

神さまは地の下にある水と、地の上にある水が区別されるように命じました。神さまは空間を天、または空（そら）と名づけました。

## 三日目

### 陸と海

#### 種のできる植物と木

神さまは地面の水を集めて海をつくったので、乾いた地面が現れました。それから、神さまは種のできる植物と木が地面に生えるように命じました。

## 四日目

### 太陽、月、星

神さまは地上の昼と夜に光を与えるため、太陽、月、星を造りました。また、神さまは太陽と月をもちい、地上における日、月、季節、年を定めました。



## 五日目

### 魚と鳥

神さまはすべての種類の魚と鳥を造り、各々の種類にしたがって繁殖するように命じました。

## 六日目

### 動物と昆虫

#### 神さまのイメージである人間

神さまは陸に住む動物や昆虫など、すべての生き物を造りました。最後に神さまは、彼自身の子どもとして愛することができるようにという特別な理由で、神さま自身に似た人間を造ったのです。神さまは地球と地上のすべてのものを彼の子どもたちのために造り、子どもたちに地上のすべてのものを支配する権威を与えました。

## 七日目

### 休息と一週間

神さまは六日間で地球上の生命体をつくり、整える仕事を終えました。そして、神さまは七日目に休息をとったのです。神さまは休息の一日を含む、七日間を一週間と決めました。

# 神さまを無視した 地球上の生命誕生に関する 人間的な理論

## リインカーネーション説 ( 靈魂転生説 )

生命をつくったのは誰もでない。

生命は常に存在していた。

命あるものが死んでも、その魂は地球上の他の身体に入り生き続ける。

## ダーウィン説

生命は独自に始まる。

ひとつの細胞に偶然に命が宿る。

何億年かの歳月が流れた後、植物の細胞のひとつが進化して動物になり、それから進化して類人猿になり、さらに進化して人間になった。

強いものが弱いものにとって代わり、生命は進化する。

生命には目的もなければ、意味もない。

ピュア & シンプル

**神さまはすべての人々とすべてのものを創造しました。**

# 人間と類人猿 の ちがい

## 神さまが人間をつくった 最初の目的

神さまは自分に似せて人間を霊的なものとしてつくり、人間に神さまの栄光ある神聖な命の冠をかぶせました。神さまは人間を自分の子どもたちとして愛し、子どもたちが「お父様」として神さまを愛してくれることを望みました。神さまは人間に地球を与え、地球上のものを支配するという使命を与えたのです。

神は仰せられた。「さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配するように。」  
創世記 1：26（新改訳）

……「人間が何者だというので、これをみこころに留められるのでしょうか。人の子が何者だというので、これを顧みられるのでしょうか。あなたは、彼を、御使いよりも、しばらくの間、低いものとし、彼に栄光と誉れの冠を与え、万物をその足の下に従わせられました。」……

ヘブル人への手紙 2：6 - 8（新改訳）

## 人間が神さまに似ているとはどういうこと？

神さまは目に見えない永遠の**霊**と**魂**です。人間は目に見える肉体を持ち、目に見えない永遠の**霊**と**魂**を持っています。

神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。

創世記 1：27（口語訳）

主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。

創世記 2：7（口語訳）

## 霊

### 霊とは人のうちにある霊の心

- 良心
- 直観
- 神の知識

神さまはすべての人々の心の奥深くに、神さま自身が住み、子どもたちと会話をするための「場所」を用意しました。人間は造り主である神さまとの**霊**と**霊**の親しい関係を持つため、そして、神さまの神聖な命をもって生きるために造られました。最初に造られたアダムとイブは毎日、神さまと散歩をして、神さまとの会話を楽しんでいたのでした。

## 魂

### 魂とは人の自我

- 意思
- 思考
- 感情

魂は人間の個性と人格をつくる、人間の目に見えない部分です。神さまはロボットや操り人形を造ったわけではありません。神さまは人間ひとりひとりに思考と自由意志を与え、自分の生き方を自分の意思で選んでいくという責任を与えました。

## からだ

### からだとは人の肉体の部分

- 肉体
- 血
- 骨
- 感覚 ( 視覚、聴覚、触覚、臭覚、味覚 )

からだは私たちの身体の機能がスムーズに働くように何兆億という複雑な細胞で成り立っています。各々の細胞には私たちが呼吸をしたり、食事をしたり、消化をしたりするなどの特定の役割があります。神さまは私たちの永遠の霊と魂が地球上にいる間、住むことができるように造ったのです。

## 人間と類人猿のちがい

### 霊

人間は神さまと同じように永遠の霊を持つことができ、神さまをじきじきに知って、神さまを愛することができます。すべてのよい贈りものを与える「聖なる贈り主」として人間が神さまをあがめて、満たされた人生を歩むことができるように、神さまは人間ひとりひとりに贈り物と才能を与えました。神さまの子どもたちの霊をとおして、すべての人々が神さまの存在を知り、神さまのユニークな計画と目的を知ることができるためです。

類人猿は霊を持っていません。彼らは、個人的に神さまを知ることができるようには造られていないのです。

### 魂

神さまはすべての人々に、やりたいことを選択することができるように自由意志と思考をもつ魂を与えました。

類人猿は魂を持っていません。彼らの行動のほとんどは本能で決められていました。

## からだ

人間も類人猿も神さまの手によって地の塵から造られたからだをもっています。すべてのからだは肉体が死んだ後、地の塵に還ります。しかし、人間のからだは死ぬと、人間のもつ永遠の霊と魂は天国、または、地獄で永遠に生きることになります。裁きの日が来る前に、神さまはすべての人々の死んだからだをよみがえらせます。天国に行く人々は、イエスさまのからだはよみがえったように、彼らの栄光に満ちたからだをもって生きるのです。

( コリント人への手紙 第一 15 : 42 - 49 )

ピュア&シンプル

神さまはあなたを神さまに似せて  
神さま自身のために創造したのです。

# 神さまの愛に 秘められた情熱

## 神さまの愛に秘められた情熱

### 人間に対する神さまの情熱的な愛

神さまは神聖な愛をふりそそぐことができるこの上ない対象として人間を造りました。神さまは人間のために世界を造り、私たちひとりひとりに栄光ある計画をたてたのです。

すなわち、神は私たちを世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。  
エペソ人への手紙 1：4（新改訳）

神よ、あなたのもろもろのみ思いは、なんとわたしに尊いことでしょう。その全体はなんと広大なことでしょう。わたしがこれを数えようとすれば、その数は砂よりも多い。わたしが目ざめるとき、わたしはなおあなたと共にいます。  
詩篇 139：17 - 18（口語訳）



## ベストのみを人間のために

神さまはものごとを選択することができる自由意思を人間に与えました。私たちが愛と平安、喜びと目的で満たされる人生を選択することができるように、神さまがこれを命じたのです。神さまの偉大な命令は、私たちが今まで味わったことがないほど満たされるようにと私たちのためにだされているのです。

そこで、イエスは彼に言われた。「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』これがたいせつな第一の戒めです。

マタイの福音書 22 : 37 - 38 (新改訳)

主は言われる、わたしがあなたがたに対していている計画はわたしが知っている。それは災いを与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。

エレミヤ書 29 : 11 (口語訳)

## 拒絶された神さまの愛

神さまが人間をつくった目的は、愛するため、私たちに愛してもらうためです。しかし、人間はみな、神さまの愛に背を向け、神さまとの絆をすべて断ち切ってしまいました。

私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。……

イザヤ書 53 : 6 (新改訳)

## 父である神さまの情熱

神さまの私たちへの偉大な愛は、神さまのひとり息子(イエス)を十字架にかけ、私たちの罪を神さまの息子(イエス)の血潮であがなうという結果を招きました。

私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

ヨハネの手紙 第一 4 : 10 (新改訳)

こうして、ほとんどすべての物が、律法に従い、血によってきよめられたのである。血を流すことなしには、罪のゆるしはあり得ない。

ヘブル人への手紙 9 : 22 (口語訳)

## イエス・キリストの情熱

私たちがイエスさまを拒絶したにもかかわらず、イエスさまは私たちのために死にました。私たちが地獄に落ちて抹消してしまわないようにという、イエスさまの私たちへの情熱的な愛は、自分が身代わりになって苦しんで死ぬという選択をイエスさまにさせたのです。

しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに對するご自身の愛を明らかにしておられます。

ローマ人への手紙 5 : 8 (新改訳)

彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。人が顔をそむけるほどさげすまれ、私たちも彼を尊ばなかった。まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。…… イザヤ書 53：3 - 5 (新改訳)

## 愛によるセカンドチャンス

イエスさまは、彼の流した血潮と死、そして、彼が死からよみがえることによって、人間が彼とともに永遠の命を持つことを可能にしました。

今、イエスさまはすべての人々の心の扉の前に立ち、彼を救い主として受け入れる人々に、途絶えることのない永遠のイエスさまの愛、許し、そして、永遠の命を授けています。イエスさまは神さまが初めのときからすべての人々に計画していたように、私たちの心の中に住んで、心と心のつながりを望んでいるのです。

見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。 三ハネの黙示録 3：20 (新改訳)

## 愛の悲劇

- **神さまに起こった最大の悲劇は、心の限り愛する人間の子どもたちから愛されなかったことです。**
- **人間に起こった最大の悲劇は、生きて死に、神さまから永遠に引き離され、情熱的な神さまの愛を知ることができなくなったことです。**

また、信仰によって、キリストがあなたがたの心のうちに住み、あなたがたが愛に根ざし愛を基として生活することにより、すべての聖徒と共に、その広さ、長さ、高さ、深さを理解することができ、また人知をはるかに越えたキリストの愛を知って、神に満ちているもののすべてをもって、あなたがたが満たされるように、……

エペソ人への手紙 3 : 17 - 19 (口語訳)

ピュア&シンプル

**神さまは心の底からあなたを愛しています。**

# 罪と死

## 罪のはじまり

### 悪魔とともに罪ははじまった

イザヤ書 第14章12節 - 15節

悪魔（サタン）はもともと、天国にいたルシファーという名の輝かしい天使でしたが、彼はもっと栄誉をあげたいと渴望しました。「神のようになりたい」と望んだルシファーは、神さまの御座よりも高い地位につくもくろみを立てたのです。天国にいた三分の一の天使たちが神さまにそむいて、ルシファーの側につきました。そして、神さまはルシファーとルシファーの側についた天使たちを天国から追放したのです。ルシファーは極悪な悪魔になり、彼に従って天国から墮落した天使たちは悪霊になりました。悪魔と悪霊たちは現在、地球上に住み、不思議な技やごまかしなどをとおして、悪魔に従う人々を増やそうと狙っています。

悪魔とは、

- **泥棒および破壊者**（ヨハネの福音書 第10章10節）
- **世を惑わす者**（ヨハネの黙示録 第20章3節）
- **暗やみの王国の支配者**（コロサイ人への手紙 第1章13節）
- **光の御使いに変装する者**  
（コリント人への手紙 第二 第11章14節）
- **殺人者**（ヨハネの福音書 第8章44節）
- **偽りの父**（ヨハネの福音書 第8章44節）

「……悪魔は初めから人殺しであり、真理に立つてはいません。彼のうちには心理がないからです。彼が偽りと言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。」

ヨハネの福音書 8 : 44（新改訳）

## 人間の罪

### 創世記 第3章

初めに造られた人間、アダムとイブは悪魔に惑わされ、神さまが禁じた果物を食べてしまいました。この果物が、彼らを神さまのように賢くしてくれると信じ、また、自分自身が誉れを得たいという欲望に駆られて神さまにそむき、そして、神さまから自立する道を選んだのです。この反逆という行為の罪と神さまに対するプライドのため、人間は光と命である神さまの霊的な王国を去り、暗闇と死が満ちる悪魔の王国の支配下におかれるようになりました。

### すべての人が神さまに対して罪人

罪は初めにアダムとイブをとおして人間に入りこみました。それ以降、すべての人々が神さまから自立して生きることを選び、自分自身が誉れを得るために生きるようになったのです。

すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、  
ローマ人への手紙 3 : 23 (新改訳)

### 罪に伴う苦悩

神さまは、霊、魂、肉体、そして、神さまの子どもたちの人生を破壊してしまう罪をきらいます。罪は人間の潜在意識と魂を墮落させて苦しめます。罪は人間を罪悪感、恥、孤独感、不安感、拒絶感、怒り、そして、恐れという牢獄にとじ込めてしまいます。罪は死を恐れる奴隷として人間をとじ込める力を悪魔に与えるのです。(ヘブル人への手紙 第2章14節 - 15節)

あなたがたはこのことを知らないのですか。あなたがたが自分の身をささげて奴隷として服従すれば、その服従する相手の奴隷であって、あるいは罪の奴隷となって死に至り、あるいは従順の奴隷となって義に至るのです。

ローマ人への手紙 6 : 16 (新改訳)

## 罪の代価

罪は私たちを悪魔の霊的な奴隷にし、私たちに永遠の死の宣告をします。イエスさまは地上にきて、天国にいる父の望みに従い、私たちの罪の代価を支払うため、死刑になりました。罪の奴隷、悪魔、そして、永遠の死から私たちを救うことができるのは、罪のない神さまの息子が犠牲になること以外、他に方法はなかったのです。

### イエスさまが十字架にかけられる前夜の父である神への祈り

それから、イエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈って言われた。「わが父よ。できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願うようにはなく、あなたのみこころのように、なさってください。」

マタイの福音書 26 : 39 (新改訳)

罪からくる報酬は死です。……

ローマ人への手紙 6 : 23 (新改訳)

## 罪が人間にあたえる影響

### 霊(心)

罪は「神さまの住み家」である人間の心の中から、神さまを追い出してしまいました。このことによって人間の霊は、神さまの目から見ると死、または、空洞になってしまったのです。神さまの臨在で満たされるはずの人間の心の中にできた空洞は、神さまとの交流で満たされるのではなく、物質的なものや肉体的なものにより満たされるようになりました。

## 魂 ( 自己 )

罪により人間は神さまから切り離され、「迷える魂」になりました。迷える魂は、彼らがどこから来て、何の目的でこの地上に存在するのか、そして、死後どこへ行くのかを知ることができません。彼らの願いは神さまの願いに反していて、常時変動する彼らの感情によって、ほとんどの選択がなされていきます。神さまについての知識があいまいな彼らは、神さまのイメージを自分勝手につくりあげてしまいます。

- 人文主義—人間は神である
- 無神論主義—神は存在しない
- 汎神論主義—すべてのものは神である
- 宗教—神についての哲学
- 相対論主義—悪魔と神は同じである
- 偶像崇拜—物質を神として拝む

## 肉体

人間の肉体は、神さまからの永遠の命を受けつぎ、永遠に生きるように造られました。しかし、罪によって人間から神さまの命が切り離されたとき、病、苦しみ、老い、そして、死が彼らの中に入りこみました。罪は地上を天災といばら、弊害で呪ったのです。

### ピュア&シンプル

罪とは人生から神さまを追放するという選択をすることです。



# イエスさまとは？

王様の王であり、主の主である

## イエスさまとは？

神さまの息子

すべてを創造して成り立たせる方

イエス・キリストは常に神さまの息子として存在していました。イエスさまという方は、目に見えるものと見えないもの、肉体と霊、そして、宇宙にあるすべてのものを造った方です。イエスさまは彼の持つ偉大な力で、すべてのものをまとめて、すべてのものを成り立たせています。

御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた方です。なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も權威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。                      コロサイ人への手紙 1：15 - 17（新改訳）

## 人の肉体をもった神さま

ベツレヘムの町でイエスさまが生まれる何千年も前に、罪から人々を救うために地上に来られる神さまの救い主についての百以上にもわたる詳細が預言者たちによって預言されました。驚くばかりの処女からの出生、人生、ミニストリー、十字架での死とよみがえりの預言は成就されたのです。

このすべての出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった。「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。)                      マタイの福音書 1:22-23 (新改訳)

キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。

ピリピ人への手紙 2:6-8 (新改訳)

## 十字架にはりつけられた神さまの息子

神さまはすべての人々の罪の代価を支払うために罪のない息子、イエスを十字架につけました。私たちの罪を背負い、イエスさまは私たちの代わりに裁かれ、非難されたのです。イエスさまは続けざまに殴られ、つばをかけられ、あざけられた後、私たちのために十字架にはりつけになりました。

そこで、ピラトは……、イエスをむち打ってから、十字架につけるために引き渡した。……イエスをからかったあげく、……十字架につけるために連れ出した。

マタイの福音書 27:26、31 (新改訳)

## よみがえった救い主

イエスさまは三日間、墓穴の中に埋葬されました。それから、イエスさまのからだは死からよみがえったのです。イエスさまが死と地獄と墓穴にうち勝ってよみがえったことにより、彼を救い主として信じて受け入れるすべての人々は赦され、イエスさまとともに天国で永遠の命の贈り物を得ることが可能になりました。

イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。」

ヨハネの福音書 11：25 - 26 (新改訳)

## 裁き人、王、そしてすべての主

イエスさまは父である神さまに従い、神さまの愛する人間の子どもたちを救うために自分の命を喜んで捧げたので、イエスさまの天国の父はイエスさまを最終的な判決を下す裁き人、そして、永遠の王、すべてのものの主に任命しました。

それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、すべての口が、「イエス・キリストは主である」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。      ピリピ人への手紙 2：9 - 11 (新改訳)

## 神さまとのたったひとりの仲介者

神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。……

テモテへの手紙 第一 2 : 5 - 6 (新改訳)

## 天国への道はひとつ

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。

ヨハネの福音書 14 : 6 (新改訳)

## 全能の神さま

神である主、今いまし、昔いまし、後に来られる方、万物の支配者がこう言われる。「わたしはアルファであり、オメガである。」

ヨハネの黙示録 1 : 8 (新改訳)

ピュア&シンプル  
イエス様は神さまです。

# 生まれ変わる方法

## 霊的に生まれ変わることの必要性

罪が人間の霊を神さまの神聖な命から切り離れたとき、人間の霊は死にました。すべての人々は霊的に生まれ変わる必要があります。その理由は、私たちが霊的に悪いからというのではなく、私たちが霊的に死んでいるからなのです。よい行いで死んだ霊をよみがえらせることはできません。

あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、……歩んでいました。

エペソ人への手紙 2 : 1 - 2 (新改訳)

肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。あなたがたは新しく生まれなければならない、とわたしが言ったことを不思議に思ってはなりません。

ヨハネの福音書 3 : 6 - 7 (新改訳)

## イエスさまと共に生きる

イエスさまが死んだ後、神さまの霊はイエスさまを死からひきあげ、イエスさまの霊をよみがえらせました。私たちがイエスさまを救い主として信じて受け入れるとき、イエスさまをよみがえらせた神さまの霊(御霊/聖霊)が私たちの心の中に宿り、私たちの霊を再びよみがえらせるのです。

もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、あなたがたのうちに住んでおられるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだをも生かしてくださるのです。

ローマ人への手紙 8 : 11 (新改訳)

しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし、—あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです—

エペソ人への手紙 2 : 4 - 5 (新改訳)

### 生まれ変わるための祈り

親愛なるイエス様。私のために十字架につけられ、死んでくださりありがとうございます。どうぞ私の心の中に住み、私のすべての罪を赦してください。あなたとともに私に新しい命の贈り物をくださったことを感謝します。アーメン。

## 生まれ変わる方法

### 罪を悔い改める

悔い改めるということは、自分の罪を認めて、許してくださいと神さまに助けを求めるといことです。

もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。もし、罪を犯したことがないと言うなら、それは神を偽り者とするのであって、神の言はわたしたちのうちにない。

ヨハネの第一の手紙 1 : 9 - 10 (口語訳)

## イエスさまを信じる

信じるということは心の**意思表示**です。イエスさまが私たちのために死んでくれたのだと信じる心の**意思表示**をすることです。私たちは信じて（信仰）心の扉を開き、イエスさまを個人的な救い主として迎え入れるのです。

人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。  
ローマ人への手紙 10：10（新改訳）

## 奇跡を受け入れる

生まれ変わるという奇跡は、**哀れみ**と**恩恵**という神さまからの**贈り物**です。私たちがどんなにがんばっても、それを受け取る資格のある者になることはできません。しかし、信じて（信仰）イエスさまを救い主として受け入れるなら、神さまは新しい霊、命の贈り物を一瞬のうちに与えてくれます。

「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」のです。  
ローマ人への手紙 10：13（新改訳）

あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。  
エペソ人への手紙 2：8（新改訳）

## あなたが生まれ変わる時に起こること

### 新しい誕生

しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。  
ヨハネの福音書 1：12 - 13（新改訳）

## 内面的に新しくなる

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

コリント人への手紙 第二 5 : 17 (新改訳)

## 新しい保証

あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。

コリント人への手紙 第一 6 : 20 (新改訳)

聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証です。……

エペソ人への手紙 1 : 14 (新改訳)

## 天国にある「命の書」に書きしるされる新しい名前

……ただあなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい。

ルカの福音書 10 : 20 (新改訳)

## 新しい永遠の命

神の御子を信じる者は、このあかしを自分の心の中に持っています。……そのあかしとは、神が私たちに永遠のいのちを与えられたということ、そしてこのいのちが御子のうちにあるということです。

ヨハネの手紙 第一 5 : 10 - 11 (新改訳)

## ピュア&シンプル

天国に行くためには生まれ変わらなければなりません。



# イエスさまの従者になる

## イエスさまの従者になる

イエスさまの従者になるということは、イエスさまを愛し、信用し、従っていくことをどんどん学ぶということです。私たちがこれらの努力を続ければ、聖霊さまは絶えず私たちの魂をイエスさまのイメージに近づくように変えてくれます。イエスさまの従者になるためのゴールは、彼と「ひとつ」になること、喜び、愛、平安と目的を彼と統合することです。

父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。もし、あなたがたがわたしの戒めを守るなら、あなたがたはわたしの愛にとどまるのです。それは、わたしがわたしの父の戒めを守って、わたしの父の愛の中にとどまっているのと同じです。わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたの喜びが満たされるためです。

ヨハネの福音書 15 : 9 - 11 (新改訳)

## イエスさまの従者になることを選択する

私たちがイエスさまを救い主として心の中に招き入れたとき、私たちの霊は神さまによって永遠に生まれ変わりました。しかし、イエスさまに従うということは、私たちの人生をとおして、私たちの思いではなく、神さまの思いを全うしてもらおうという私たち自身の日々における選択なのです。私たちの人生をイエスさまに明け渡し、私たちの思いを彼のうちにある真理で新しくしてもらい、聖霊さまの力でイエスさまが立てた私たちの人生における計画に従って歩むことが要求されます。

.....「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。

マタイの福音書 16：24 - 25 (新改訳)

あなたがたは、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることによって、造りかえられ、何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである。

ローマ人への手紙 12：2 (口語訳)

## 愛に従う

永遠に地獄で過ごすという運命の道をたどっている迷える魂たちにたいして、イエスさまに従う人々はイエスさまのうちにある哀れみを持っています。イエスさまは自分の従者たちに、彼を信じれば天国に行くことができるというよい知らせを全世界に出て行き、伝えるように指示しました。イエスさまは私たちの心に愛を注ぎ、聖霊さまの力により、迷える魂たちを彼の元へ導く霊の贈り物（賜物）を私たちに与えてくれたのです。

それから、イエスは彼らにこう言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。

マルコの福音書 16 : 15 (新改訳)

.....私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

ローマ人への手紙 5 : 5 (新改訳)

イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」

マタイの福音書 4 : 19 (新改訳)

## 真理に従う

イエスさまの従者になるには、真理である神さまの言葉（聖書）が描写しているとおりのイエスさまに従うことが義務付けられます。聖書は完璧な真理の書であると牧師が説く教会に忠実に通うことがとても重要になってきます。神さまの言葉を知らずに神さまの言葉に従わない人々は、偽って語られるイエスさまのことを信じてしまう危険性があります。イエスさまは決して、彼が宗教上でのリーダーだとは弁明しませんでした。イエスさまはこの世に生をうけ、死に、そして、自分は神であると証明するために死からよみがえったのです。

というわけは、ある人が来て、私たちの宣べ伝えなかった別のイエスを宣べ伝えたり、あるいはあなたがたが、前に受けたことのない異なった霊を受けたり、受け入れたことのない異なった福音を受けたりするときも、あなたがたはみごとにこらえているからです。

コリント人への手紙 第二 11：4（新改訳）

ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。

ヘブル人への手紙 10：25（新改訳）

## 神さまの計画に従う

人間は神さまを崇めるため、そして、永遠に神さまを喜ぶために造られました。これを成し遂げるために、神さまは人間ひとりひとりの人生に特別な計画を立てています。この計画は私たちのうちに住んでいる聖霊さまの力で神さまから与えられた才能を用い、神さまに栄光を捧げるといふ目的を持っていま

す。神さまの計画に従えば、私たちはイエスさまを知り、イエスさまをもっと個人的に愛し、もっともっとイエスさまのようになってくるのです。神さまの私たちへの計画は、私たちの人生が運命的な冒険、喜び、平安、そして、神さまが私たちに与えた夢が実現して満たされるという計画です。

主は言われる、わたしがあなたがたに対していている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。

エレミヤ書 29 : 11 (口語訳)

……『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって』と万軍の主は仰せられる。

ゼカリヤ書 4 : 6 (新改訳)

……わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。

ヨハネの福音書 10 : 10 (新改訳)

あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、いま見てはいないけれども信じており、ことばに尽くすことのできない、栄えに満ちた喜びにおどっています。これは、信仰の結果である、たましいの救いを得ているからです。

ペテロの手紙 第一 1 : 8 - 9 (新改訳)

ピュア&シンプル

もし、あなたがイエスさまに従うなら、  
あなたはしだいに彼に似てくることでしょう。

# 祈りの鍵

## 神さまが聞かれる祈り

### 鍵のかかった扉と祈り

#### 扉がなければ鍵もなし

神さまとの交流の扉を開く鍵はイエスさまです。イエスさまが私たちのために死ぬ以前は、神さまの臨在に入る扉はありませんでした。

私は門です。だれでも、わたしを通して入るなら、救われます。…… ヨハネの福音書 10：9（新改訳）

神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのイエス・キリストです。キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。……

トモテへの手紙 第一 2：5 - 6（新改訳）

#### 閉ざされる祈り

私たちの心に罪があるとき、神さまは私たちの祈りを聞きません。罪のひとつとして赦さないということがあります。赦さずにいると、それは怒りと憎しみになり、祈りが閉ざされる大きな原因になります。イエスさまは人々の罪を赦すために死にました。私たちの感情を害したり、傷つけたりした人々を赦すことをわたしたちが拒んでしまうと、神さまも私たちを赦すことはできないのです。

人間の心は他人を赦すという能力を持ち合わせていません。私たちが赦すことのできるただひとつの道は、赦すということを選択し、私たちの心の中に住んでいる聖霊さまの力で赦すことができるようにと聖霊さまにお願いすることです。赦すということは選択であって、感情ではありません。私たちが赦すことを選択し、神さまに審判を委ねたとき、神さまは私たちの敵をとって弁護する方になってくれることでしょう。

もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してくださいませ。しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりませぬ。

マタイの福音書 6：14 - 15（新改訳）

罪の深い人は赦すということをしませぬ。

（マタイの福音書 第18章21節 - 28節）

## 神さまの心への扉

### 祈りの場所

神さまが私たちに会うために造った秘密の場所は、私たちの心の奥深いところにあります。私たちの思いを神さまが住んでいる心の内に向け、神さまが私たちに語るのを待ってアプローチします。私たちが感謝、賛美、栄光を讃えて心の扉をくぐったとき、神さまの臨在を感じる事ができるのです。

あなたに代わって、私の心は申します。「わたしの顔を、慕い求めよ」と。主よ。あなたの御顔を私は慕い求めます。

詩篇 27：8（新改訳）

感謝しつつ、主の門に、賛美しつつ、その大庭に、入れ。主に感謝し、御名をほめたたえよ。

詩篇 100：4（新改訳）

「静まって、わたしこそ神であることを知れ。……」

詩篇 46：10（口語訳）

## 祈りの答え

神さまは私たちがすべてのことを彼に語ることを望んでいます。神さまは彼の霊と真理で私たちに「語り」かけます。私たちの心の中に住んでいる聖霊さまは、神さまが私たちに語っていることを「理解」して「見分ける」ことができるように援助します。私たちが神さまの愛と真理の中に生きるとき、私たちが願うことを何でもかなえてくれるのです。

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

ピリピ人への手紙 4：6 - 7 (新改訳)

あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます。

ヨハネの福音書 15：7 (新改訳)



## 主の祈り

「天にいます私たちの父よ。  
御名があがめられますように。  
御国が来ますように。  
みこころが天で行われるように  
地でも行われますように。  
私たちの日ごとの糧を  
きょうもお与えください。  
私たちの負いめをお赦してください。  
私たちも、私たちに負いめのある人たちを  
赦しました。  
私たちを試みに会わせないで、  
悪からお救いください。」

マタイの福音書 6 : 9 - 13 (新改訳)

## 十字架の上にてのイエスさまの最後の祈り

「父よ。彼らをお赦してください。  
彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」

ルカの福音書 23 : 34 (新改訳)

ピュア&シンプル

祈りとは神さまと交わす心と心の対話です。

# あなたの宝ものは どこにある？

## あなたの宝ものはどこにある？

私たちの宝ものとは、私たちにとって価値があり、いちばん大切だと思っているものです。その宝ものを手に入れるためには他のことを犠牲にしてもかまわないとっていて、頭の中がその宝ものことでいっぱいになります。

あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。

マタイの福音書 6：21（新改訳）

## 人間は神さまの宝

私たちの罪のために神さまが自分のひとり息子を死なせるといふ犠牲を払ったとき、神さまは私たちをいちばんに愛してくれました。私たちを救うためにイエスさまが自分の命を捧げたとき、イエスさまは私たちをいちばんに愛してくれました。各々の人間の価値評価は、神さまが私たちを愛して救う価値があるとみなした事実から引き出すことができます。

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠の命をもつためである。

ヨハネの福音書 3：16（新改訳）

## 神さまは私たちの宝物になることを望んでいる

神さまは私たちの人生でいちばんに愛されるものになることを望んでいます。

そこで、イエスは彼に言われた。「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』これがたいせつな第一の戒めです。

マタイの福音書 22 : 37 - 38 (新改訳)

わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。また、わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。

マタイの福音書 10 : 37 (新改訳)

だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

マタイの福音書 6 : 33 (新改訳)

## ふたつのタイプのクリスチャン

クリスチャン全員が神さまをいちばんに愛しているわけではありません。多くのクリスチャンは彼らが死んだ後、天国に行けるということで満足しています。しかし、彼らの心の中には神さまよりもこの世のものを愛する思いで満たされているのです。

## 神さまをいちばんに愛するクリスチャン

神さまをいちばんに愛するクリスチャンはイエスさまを主として崇め、イエスさま中心の人生を歩んでいて献身的です。彼らの思いは、神さまの思いをこの地上で行い、人々をイエスさまに導くという、神さまの栄光のために生きることを喜びにしています。

こういうわけで、あなたがたは、食べるにも、飲むにも、何をするにも、ただ神の栄光を現すためにしなさい。

コリント人への手紙 第一 10：31（新改訳）

こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右の座を占めておられます。

コロサイ人への手紙 3：1（新改訳）

## この世をいちばんに愛するクリスチャン

世俗的なクリスチャンはこの世をいちばんに愛し、「自己」を満足させることで幸せを見だし、この世の観点から価値があると見なされるものに対して献身的です。この世に属するものは、神さまに従おうとする人の「魂」を妨害するため、いつまでも満足することはなく、もっと欲求をそそがれます。

世をも、世にあるものをも、愛してはなりません。もしだれでも世を愛しているなら、その人のうちに御父を愛する愛はありません。すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行う者は、いつまでもながらえます。ヨハネの手紙 第一 2：15 - 17 (新改訳)

人は、たとえ全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がありません。……

マタイの福音書 16：26 (新改訳)

## 永遠の宝もの

永遠の宝ものとは、クリスチャンの人たちが地上で行った善行に伴い、神さまが天国に積んだ報酬のことです。すべてのクリスチャンが生涯のうちにやってきたことを弁明するためにキリストのさばきの座に立ち、彼らの行いによって報酬がもらえたり、もらえなかつたりするのです。

なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に現れて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあった行為に応じて報いを受けることになるからです。

コリント人への手紙 第二 5：10 (新改訳)

自分の宝は、天にたくわえなさい。そこでは、虫もさびもつかず、盗人が穴をあけて盗むこともありません。

マタイの福音書 6：20 (新改訳)

### 親切な行いに対する報酬

あなたがたがキリストの弟子だからというので、あなたがたに水一杯でも飲ませてくれる人は、決して報いを失うことはありません。これは確かなことです。

マルコの福音書 9：41 (新改訳)

### すばらしい仕事をした報酬

各人の働きは明瞭になります。その日がそれを明らかにするのです。……

コリント人への手紙 第一 3：13 (新改訳)

### 自己中心的な動機への報酬はない

人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から、報いがうけられません。 マタイの福音書 6：1 (新改訳)

ピュア&シンプル

あなたの宝ものとはあなたが最も愛しているものです。

# 最後の審判

## 死の判決

神さまは聖書の中で、人間は一度死んで審判を受けると語っています。神さまは肉体が死んだ後、魂が眠るということや浄罪界（しばらくの間、罪滅ぼしの苦行をする場所）、リインカネーション（靈魂の生まれ変わり）、または死滅するということを説いてはいません。

そして、一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることとが人間に定まっているように、

ヘブル人への手紙 9：27（口語訳）

## 肉体が死んだ直後、何が起こる？

### イエスさまと共にパラダイスへ

「生まれ変わった」永遠の魂と霊は即座にイエスさまとともにパラダイス（楽園）に行きます。また、そこで彼らより先に死んだ信者たちに再会するのです。イエスさまがキリストの審判席でイエスさまに忠実な者たちに報酬を渡したあと、すべての信者たちは天にある永遠の「家」に入ります。

私たちはいつも心強いのです。そして、むしろ肉体を離れて、主のみもとにいるほうがよいと思っています。

コリント人の手紙 第二 5：8（新改訳）

イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」

ルカの福音書 23：43（新改訳）

## ハデス ( 死の王国 )

神さまが人間の罪のために捧げた唯一の犠牲を拒絶した人々の魂は即座に地獄に行きます。地獄とは最後の審判の日に永遠の死がまっている苦しみの場所です。

ルカの福音書第 16 章 19 節から 31 節にかけて、死んだ二人の男性のことが記されています。ひとりの男性は地獄に行き、そしてもうひとりの男性は天国に行きました。

## 最後の審判

### 大きな白い御座の審判

最後の審判は、心の中で直感的に神さまの存在を知りながらも、彼らを救うために犠牲となって死んだ神さまのひとり息子を拒否した者だけにくだされます。これらの魂は罪のために審判を受けることになるのです。

それゆえ、神について知られることは、彼らに明らかです。それは神が明らかにされたのです。神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。それゆえ、彼らは神を知っていながら、その神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなりました。

ローマ人への手紙 1 : 19 - 21 ( 新改訳 )



また私は、大きな白い御座と、そこに着座しておられる方を見た。地も天もその御前から逃げ去って、あとかたもなくなった。また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。そして、数々の書物が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行いに応じてさばかれた。海はその中にいる死者を出し、死もハデスも、その中にいる死者を出した。そして人々はおのおの自分の行いに応じてさばかれた。

ヨハネの黙示録 20 : 11 - 13 (新改訳)

### 地獄 ( 炎の湖 )

それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。

ヨハネの黙示録 20 : 14 - 15 (新改訳)

## 天国 ( 神とともに住む家 )

天国は神さまが人間の子どもたちといっしょに住むために用意した栄光に満ちた場所です。地獄は神さまが悪魔と悪魔の手下である悪霊たちを永遠に隔離するために用意した場所です。しかしながら、地獄は地上で神さまから独立して生きることを選んだ人間たちの永遠の家にもなってしまいました。

人がこの地上で最後の吐息を吐くその瞬間まで、そして、永遠の場所に入るまで、神さまは人間に「説得」することをやめはしません。しかしながら、結局、神さまは彼らの最終的な選択を承諾せざるおえないのです。イエスさまを心の中に救い主として喜んで招く人々は、天国で永遠に神さまと暮らします。神さまと彼のひとり息子を拒否した人々は、永遠に神さまから隔離されて地獄に落ちるのです。

主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

ペテロの手紙 第二 3 : 9 ( 新改訳 )

私は、きょう、あなたがたに対して天と地とを、証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいを、あなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も生き、あなたの神、主を愛し、御声に聞き従い、主にすぎるためだ。…… 申命記 30 : 19 - 20 ( 新改訳 )

### 神さまと生きる命を選ぶ祈り

親愛なるイエスさま。どうぞ私の人生に介入してください。  
そして、私の救い主になってください。私はあなたのためにこの地上で生き、あなたとともに永遠に天国で生き続けることを願います。アーメン。

### ピュア&シンプル

**天国は神さまがあなたのために選んだ道です。**

**地獄は人間が選んだ道です。**

パツイ・オダ、ノーマ・ボンツの著書に関する  
問い合わせは下記までお願い致します。

A Woman's Special Touch  
P.O. Box 1288  
Valley Springs, CA 95252  
U.S.A.  
Tel: 209-772-2449 (U.S.)  
[www.awomansspecialtouch.com](http://www.awomansspecialtouch.com)

A Woman's Special Touch はノーマ・ボンツが司会を担当する全世界にまたがるクリスチャン・ラジオ・ミニストリーです。北米、ヨーロッパ、ロシア、アフリカ、オーストラリア、そして、南太平洋で放送されています。

番組は北米の放送時間と同時間帯にインターネットにて放送されています。World Harvest Radio (ワールド・ハーベスト・ラジオ) [whr.org](http://whr.org) にて番組のスケジュールをお調べください。

## 著者について

パツィ・オダは作家であり、教師でもあります。彼女の自伝、「愛の行方」は六ヶ国語に翻訳され、出版されました。近年の著書には、「Differences Between Buddhism and Christianity」および、「Miracles are Free」というミニ本があります。彼女と彼女のご主人は A Woman's Special Touch Radio Ministryの役員も務めています。彼女の著書やミニ本はネットにてお求めになれます。サイトアドレスは[www.awomansspecialtouch.com](http://www.awomansspecialtouch.com)です。

## イラストレーターについて

ノーマ・ボンツはワールド・ワイド・ラジオ・ミニストリーの創設者であり、社長でもあり、ホストも勤めています。A Woman's Special Touch というミニストリー名はテレビ番組をはじめた時のテレビ番組タイトルからとったものです。彼女は聖霊様の油注がれたクリスチャン説教者であり、画家、作家でもあります。近年の彼女の作品には「The Shepherd and the Sheep」および「A Fast Trip From Genesis to Revelation」というイラストを含んだ二冊の著書があります。絵画を用いながら説教をすすめるのが彼女の特徴です。